工業新聞
& Technology
2009年(平成21年) 11 30 月曜日
第20762号 14版
市中央区北浜東2−16 名古屋支社 ☎052・931・6151 名古屋市東区泉2−21−28 西部支社 ☎092・271・5711 福岡市博多区古門戸町1−1

食品の異物混入見逃さない
X線異物検出装置
株式会社イシダ
www.ishida.co.jp

海外航空機産業と連携

JALUX マッチング新事業

技術力高い中小

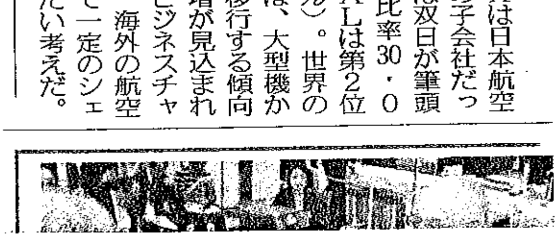
JALUXは技術力のある国内の中小企業を、海外の航空機産業にマッチングさせる新事業に乗り出す。航空機部品を作る実力はあるが、自力での海外展開が難しい中小企業を後押しするのが狙い。航空機部品メーカーから受注を受け、図面や仕様書を元にどの企業が対応できるかコーディネートし、完成した部品は同社が輸出する。日本航空系の商社として長年、航空機部品や材料を扱ってきた強みを生かす。早期に事業体制を確立し、4年後をめどに単年度の黒字化を目指す。

新事業は、まずJALUXが海外航空機部品メーカーから部品製造を受注する。入手した図面や仕様書を元に、1社単独か複数社で作るかなどを決め生産を委託する。対象とする中小企業は、独自技術を持ち、品質管理・保証の国際規格「ISO9001」、航空宇宙産業における品質管理規格「JISQ9100」などの認証を保有していることを最低条件とする。

ただ、現状では航空機産業に参入していないが、同等の技術を持っていると判断すれば認証取得などを含め協業を検討し、技術力の高い中小企業の発掘・育成を進める。

事業開始にあたり、菊地歯車(栃木県足利市)、金属技研(東京都中野区)、大和合金(同板橋区)の3社との協業を決めた。12月にフランスで開催される航空機産業向け商談会に3社とともに参加し、事業展開をスタートする。

JALUXは日本航空(JAL)の子会社だったが、現在は双日が筆頭株主(出資比率30・0%)で、JALは第2位(同21・3%)。世界の航空機業界は、大型機から中型機に移行する傾向にあり需要増が見込まれる。これをビジネスチャンスとして、海外の航空機部品市場で一定のシェアを確保したい考えだ。



名古屋で生産

三菱重工 民間機向…

ジェット部品

【名古屋】三菱重工業は名古屋誘導推進システム製作所(愛知県小牧市)で、2010年2月に航空機用エンジン部品の新ラインを稼働する。

現在は防…機向けが…が、納入…

心筋細胞99%選別

ES・iPS細胞 心臓移植の第一歩

慶大など

慶応義塾大学の福田恵一教授とアスビオファーマ(東京都港区)など[illegible]胞(万能細胞)から作った心筋細胞を99%の精度で選別する手法を開発した。心筋細胞を光らせ、[illegible]により可能になった。iPS細胞などを使った実用的な心臓移植の第一歩となる。詳細は30日付の[illegible]ソッズ電子版に掲載される。

福田教授らは心筋細胞にミトコンドリアという[illegible]ミトコンドリアだけを染める「TMRM」という色素を使い、心筋細胞を発光させた。蛍光量に応じ細胞を分ける「FACS」という装置で細胞を分別。心筋細胞だけを高純度で得た。従来の分別手法では心筋細胞を得る際に遺伝子操作を行っていたため、細胞を傷つけ腫瘍を作る危険があった。

[illegible]スES細胞から作った心筋細胞を集めてマウスの心臓に移植したところ、心筋細胞の心臓への定着率を従来の3%から90%に引き上げられた。さらに移植後、心筋細胞が成長する様子を観察できた。

福田教授は「心臓移植に必要な心筋細胞の量はおよそ100ミリグラムでこれを[illegible]5ミリグラムほど[illegible]験管で作[illegible]けで良い[illegible]あう」と[illegible]を使った[illegible]能性につ[illegible]る。

ES細[illegible]は神経や[illegible]すべての[illegible]能力を持[illegible]の応用が[illegible]